

おいでん祭特別委員会委員長方針

笠原 大祐

委員会日：毎月13日前後

=委員会メンバー=

副委員長：高木 良 深見 賢哉

「おいでん祭」は今年で第38回目を迎えます。昭和の大合併で複数の地域が一つの市となった際に、ふるさとを誇り、郷土愛をもっていただくことで、中津川市全体が一つとなることを目指したまつりは、今や4千人近くの市民を巻き込み、5万人が来場する中津川市の夏の風物詩となりました。それは、青年会議所の先輩諸兄姉が市民のためにという想いを代々受け継ぎ、誰の心にも繋がるふるさとのまつりとして感じていただけるように、知恵を振り絞り、一歩ずつ積み重ね、果敢に挑戦してきたからこそ、心を揺さぶられる今日の「おいでん祭」に続いています。しかし、近年は青年会議所のメンバーの減少、経験や知識の不足から、自信をもって運営をできているとは言い難い状況です。これでは、せっかく受け継がれてきた優れたまつりでも、その魅力を十分に発揮することはできません。我々の当たり前を見直し、より市民に楽しんでいただけるように工夫をしながら「おいでん祭」に向き合うことで、自分であればこのように携わりたいというイメージを持つことが大切です。運営、演者、来場者が、共にまつりを盛り上げることによって一体感が高まり、熱気が伝播することで、誰もが参加したいと思える「おいでん祭」が開催できると考えます。

本年度のおいでん祭特別委員会は、集まるのが楽しみな委員会運営を心がけてまいります。楽しいとは、美味しいものを食べてお酒を飲むというのも一つですが、それだけではなく、誰かのために頑張った、自分に打ち勝ち成長できたという充実感を得ることだと思えます。そのためにはまず私が情熱をもって取り組むのはもちろんのこと、何でも話し合い切磋琢磨していくことを大事にしていきます。